

らんちたいは

平成 15 年 6 月 20 日(金) 小学校給食室

みなさんは、戦争中の食べもののお話を聞いたことがある
でしょうか?今は当たり前前に食べている白いごはんですが、
戦時中はとても手の届かない夢のようなものでした。



生きていくためにはとにかく食物を
作らなければならないということで、
小学校の校庭なども畑にして、
サツマイモなどが作られました。一般の人
たちが毎日の食べる物は「代用食」と
呼ばれるものがほとんどで、水団、豆かす入りのご飯、雑穀
入りのご飯など。それさえも不足がちで、ずいぶん苦労して
食料を手に入れていました。みそ汁の実実はゴボウの葉、
フキの葉まで食べたそうです。

今日はいろいろな野菜などが入った栄養満点のすいとん
ですが、当時は、小麦粉のだんごにさつまいも、そして味つけ
は塩か、少々しょうゆ・・という粗末なものだったよう
です。みなさんにはどんな味が想像もできないかもしれませ
んが、今日のすいとんを食べながら、
すこしでも食べもの大切さや、
ありがたさなどを考えてもらえ
たらいいなあと思います。

ごはん ぎゅうにゅう
レバーのかりんとあげ
せんきゃべつ
すいとんじる

今日は の、さん
の畑のキャベツですよ!